

関東森林管理局保護林管理委員会
小笠原諸島森林生態系保護地域部会報告



1 令和5年度小笠原諸島森林生態系保護地域における主な事業

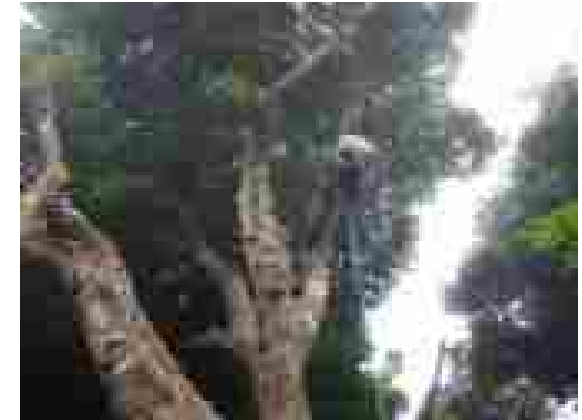
(1) 固有森林生態系修復事業

- ・ 外来植物の薬剤駆除・抜取り駆除、伐採・巻枯らし駆除、在来植物の移植・播種及び駆除に伴う事前・事後モニタリング

令和5年度小笠原諸島固有森林生態系修復事業内容

工種	面積 (ha)	本数 (本)	材積 (m ³)
薬剤駆除	128.62	27,800	185
伐採・巻枯らし	6.56	35	7
抜取り	130.81	400	—
移植・播種	20.48	549	—
メンテナンス	5,360	(単位:m)	—

メンテナンス＝グリーンアノール防衛機周辺の樹木のトリミング作業



アカギの特殊伐採の様子

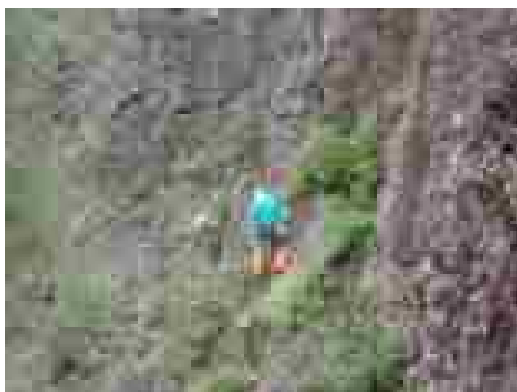


モクマオウ駆除後に繁茂したイヌハウズキ

タコノキの実の播種

※修復事業における最近の課題

- ・ 外来樹木駆除後の下層に外来草本が侵入。
- ・ 崖地に分布している外来種の駆除手法の確立。



崖地に繁茂したギンネム等の駆除

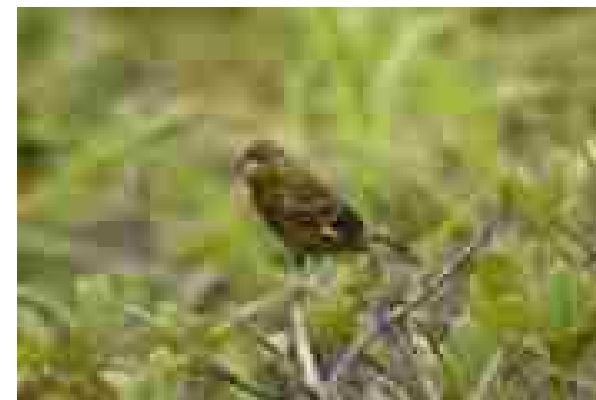


モモタマナの植栽



(2) 希少鳥類のモニタリング（母島）

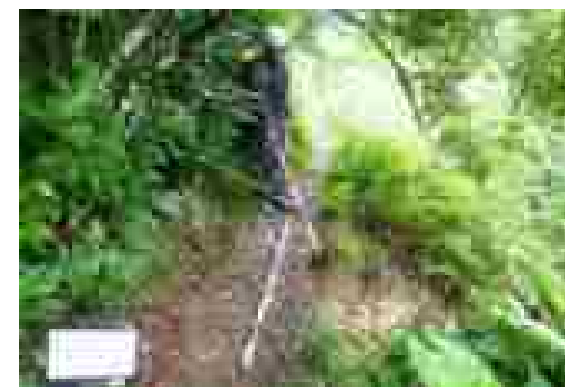
- ・オガサワラカワラヒワの生息状況のモニタリング及び標識調査を実施。
- ・今年度は67個体に標識を装着。



オガサワラカワラヒワ

(3) 指定ルートモニタリング

- ・利用による植生等への影響の把握及び危険箇所の把握。
- ・令和4年度の調査では、利用による大きな影響は見られない。



指定ルートモニタリングの様子

(4) 気候変動モニタリング

- ・父島及び母島雲霧帯における湿度観測及び定点撮影。



母島乳房山雲霧帯の様子

気候変動モニタリングの取りまとめ評価（抜粋）

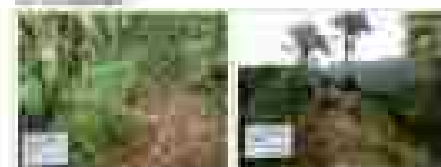
項目	気温	日照	湿度	風速	降水量	雲霧の発生	台風
短期	増加	凸凹	増加	増加	増加	増減不明	増加
長期	上昇	減少	傾向不明	傾向不明	増加	傾向不明	減少

※注 短期：2018年～2022年（雲霧の発生は2021年～2022年）
 長期：1970年～2022年（雲霧の発生は2014年～2022年）

2 令和5年度小笠原諸島森林生態系保護地域部会での主な審議内容

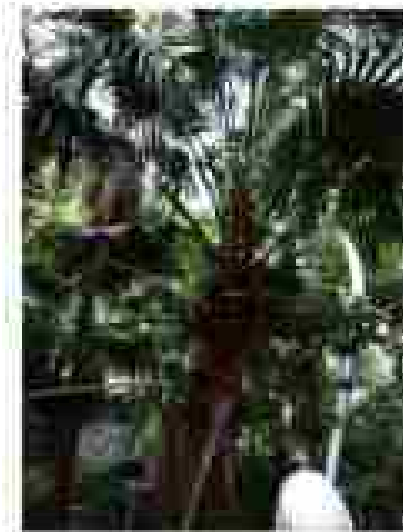
(1) 指定ルートの評価

- ルート指定から10年が経過し、指定ルートの特徴や現状・課題について指定ルートごとに調査・評価を実施。
- 全指定ルート31ヶ所のうち、現在までに15ルートの評価が完了。



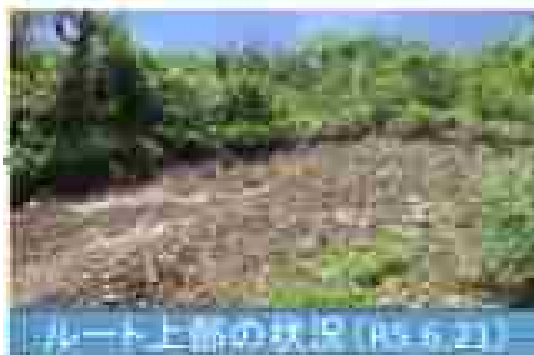
(2) オガサワラビロウの活用

- 令和4年12月に父島に試験地を6か所設け、ビロウの葉の総枚数に対し、6枚伐採、半分伐採、6枚を残して伐採の3パターンで試験を開始。
- 令和5年6月の途中経過では、6枚伐採が経過は1番良好。
- 枯損木はなく生育に支障は出ていない。



伐採試験の様子

(3) 石門ルート崩壊に伴う付け替えルートの検討



- 令和4年12月及び令和5年10月に石門ルートの一部が崩壊。
- 地元関係者により、尾根部に付け替えルートの検討を行ったが、希少種があることや観光客の体力的なことを踏まえ、付け替えを見送り。
- 令和6年2月まで観光利用は通行止めとし、今後の対応を引き続き検討。

3 令和5年度小笠原諸島森林生態系保護地域関連トピック

(1) 千尋岩ルートを貸付

- 令和5年4月1日から小笠原村へ試行的に貸付を開始。
- その結果を踏まえ、他のルートも貸し付けを検討。



千尋岩ルート

(2) 指定ルートを公園計画へ位置づけ（環境省）

- 小笠原村等からの要請を踏まえ、環境省及び林野庁で検討を進め、指定ルートの多くを公園計画へ年度内に位置づけることで調整中。

(3) 小笠原諸島森林生態系保護地域回復ボランティアの再開

- 令和5年11月26日～12月1日
(実施日11月28日)
- 参加予定 本土8名、母島3名
- アカギの駆除、在来種の植栽



令和元年度ボランティア

4 令和5年度小笠原諸島森林生態系保護地域関連スケジュール

(主な会議等)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
修復検討委員会	6/27							●—●		
現地連絡会			7/10		10/10	●—●		●—●		
小笠原部会 ※1					10/27				●—●	
事業報告会、講演会										●—●

(主たる実施内容)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事前モニタリング	●—●									
事後モニタリング※2	●—●		●—●		●—●		●—●			
各種外来植物駆除	●—●	●—●	●—●	●—●	●—●	●—●	●—●	●—●	●—●	
防衛柵刈り・モニタリング			●—●	●—●		●—●	●—●	●—●		
植栽・播種	●—●					●—●	●—●			
シロアリモニタリング	●—●				●—●	●—●				
指定ルートモニタリング				●—●	●—●	●—●	●—●			

※1：正式名称は「関東森林管理局保護林管理委員会小笠原諸島森林生態系保護地域部会」

※2：オガサワラノスリの繁殖時期を考慮してUAVの飛行時期は6月～12月の期間とする。